

## 平成27年度 第1回全国健康保険協会三重支部評議会議事録

1. 開催日時 平成27年7月17日 金曜日 午前10時00分～午前11時40分
2. 開催場所 全国健康保険協会三重支部6階会議室
3. 出席評議員 伊藤評議員、岩崎評議員、倉田評議員、中西評議員、橋本評議員、濱野評議員、松岡評議員、山口評議員、吉田評議員（五十音順）
4. 事務局 真柄支部長、中井企画総務部長、岡出業務部長、西業務グループ長、藤田レセプトグループ長、鏡谷保健グループ統括リーダー、山田企画総務グループリーダー、濱屋企画総務グループスタッフ
5. 議題 (1) 平成26年度決算について  
(2) 平成26年度三重支部事業結果報告  
(3) 地域医療構想について
6. 資料 【資料1】平成26年度全国健康保険協会決算について  
【資料2】平成26年度三重支部事業結果報告  
【参考資料】ジェネリック医薬品の使用促進について  
【参考資料】各種広報例について  
【資料3】地域医療構想について
7. 質疑応答 下記のとおり

### 議題1. 平成26年度決算について

- 【評議員】資料1ページの支出について、高齢者医療への拠出金が横ばい留まりとなった要因は何かありますか。
- 【事務局】拠出金等の賦課額につきましては、高齢者の医療費の見込みのほか、各医療保険者の加入者数や総報酬等に応じて支払基金において算出しているものであり、協会においては、詳細な増減の要因を把握できかねます。なお、後期高齢者負担金の賦課額につきましては、平成22年度より、3分の1の範囲内で、加入者割から総報酬割に変更しております。
- 【評議員】資料6ページについて、支部収支がプラスになるにもかかわらず、保険料率換算の収支差では支出が高くなのるのはなぜでしょうか。
- 【事務局】平成26年度の保険料率を策定する段階で、平成26年度の三重支部の医療費の見込みが結果的に高かったための精算分があるためです。

【評 議 員】資料 10 ページの決算について、自己資本比率は 60 パーセントと高い比率になりますが、どのように評価されますか。

【事 務 局】収支均衡予算を立てる必要があります、収益を目指すよりは収支均衡を目指すため、利潤の追求を行う一般企業と公的医療保険制度を運営している全国健康保険協会とを同じ立ち位置で評価することはできかねます。

## 議題 2. 平成 26 年度三重支部事業結果報告について

【評 議 員】資料 8 ページについて、レセプト点検を継続実施していると、体質的に改善されて効果額が少なくなると思われますが、どのようにお考えでしょうか。

【事 務 局】全く同じ環境であればご指摘のとおりですが、特に内容点検では、2年に1度、診療報酬の改定があり、それに伴い点検内容の適否も変更となる場合があります。結果的に、効果額は年々伸び続けているのが現状です。

【評 議 員】資料 6 ページについて、事業所立入検査件数が4月から9月まで0件ですが、何か理由がありますでしょうか。

【事 務 局】立入検査権限は平成 25 年 5 月に協会けんぽに付与されましたが、検査実施件数が低調であったため、協会けんぽ本部が本格的実施を行うための検査目標件数を平成 26 年度途中で各支部に付与したため、年度途中からの実施となっています。

【評 議 員】ジェネリック医薬品の使用促進のために、県内薬局に広報リーフレット及びポスターの配付を行ったとのことですが、医薬品の投薬量が多いとの指摘はありませんでしょうか。

【事 務 局】特にお聞きしたことはございませんが、過剰投与のチェック体制構築のため国はかかりつけ薬局の仕組み作りを行っています。また、お薬手帳の配布により、薬剤師による投薬量の管理が行われています。

【評 議 員】薬剤師から医師にジェネリック医薬品に変更することの進言はできないものでしょうか。このままでは、ジェネリック医薬品の使用割合の 80 パーセント目標が達成できないよう思います。

【事 務 局】先日、調剤薬局へのアンケートを実施し、現場の意見を聴取しているところです。アンケート集計が出来次第、関係機関あてに情報提供を行う予定です。

【評 議 員】特定保健指導の実施率について、全国に比して高いのか、低いのかどうでしょうか。また、今後の保健指導にかかる取り組みについてはどのようにお考えでしょうか。

【事 務 局】三重支部の状況につきましては、全国に比して平均値より上位に属しております。

今後の取り組みにつきましては、糖尿病、高脂血症などが進行した場合の人工透析を予防するための保健指導、いわゆる重症化予防を強化していきたいと考えております。

### 議題 3. 地域医療構想について

- ・特に意見なし